

会社説明会

2024年8月27日



 朝日印刷株式会社

ASAHI PRINTING CO., LTD.

CONTENTS

目次

- 01 朝日印刷について P 3
- 02 朝日印刷の強み P 11
- 03 中期経営計画 AX2024 P 17
- 04 2025年3月期第1四半期 決算概要 P 26
- 05 株主還元 P 28



1. 朝日印刷 について

創業150年を超える 医薬品・化粧品の印刷包材分野における リーディングカンパニーです

商号

朝日印刷株式会社

所在地

富山県富山市

創業

1872年 (明治5年)

設立

1946年 5月 (昭和21年)

上場市場

東証スタンダード (証券コード: 3951)

資本金

2,228百万円

主要事業

印刷・包装資材の製造、販売
包装システムの販売、人材派遣



代表取締役社長 朝日 重紀

連結売上高

418億円

(2024年3月期)

連結子会社

7社

うち海外子会社

3社

(2024年3月時点)

今期配当予想

38円

(配当利回り **4.1%**※)

※ 2024年8月20日終値

連結営業利益

20.3億円

(2024年3月期)

連結従業員数

1,873名

(2024年3月時点)

配当性向

40%以上

(配当政策より)

経営理念

お客様本位を基本とし、
企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。

使命
Mission

包むところを大切にし、安心・安全と美を追求した商品・サービスを提供することで社会に貢献します。

目指す姿
Vision

包装の価値創出企業として、日本と世界へ新しい包装文化を発信します。
朝日印刷グループで働く世界中のだれもの子供や孫の世代が「入社したい」と思うような会社を目指します。

行動指針
Value

私達は12の行動指針の元に、社会・お客様へ対して価値創出とミッションを果たします。

明治 5年 1872 小沢活版所（個人経営）として現富山県魚津市にて**創業**

昭和21年 5月 1946 富山市にて朝日印刷紙器(株)を**設立**

▶ 昭和30年代前半 医薬品印刷包材に特化

昭和39年 4月 1964 東京営業所（現東京支店）開設

昭和44年 8月 1969 大阪営業所（現大阪支店）開設

▶ 昭和50年代前半 化粧品印刷包材に進出

平成元年10月 1989 富山工場を新設

平成 5年 8月 1993 日本証券業協会に株式を店頭登録

平成14年11月 2002 **東京証券取引所市場第二部**（現スタンダード市場）**に上場**

平成15年11月 2003 富山工場敷地内に富山第二工場を新設

平成20年 6月 2008 富山東工場を新設

平成22年 9月 2010 富山南工場を新設

平成27年10月 2015 京都クリエイティブパーク稼働開始

令和元年12月 2019 Shin-Nippon・Harleigh社を子会社化

令和 2年 4月 2020 京都クリエイティブパーク（西棟）増設

令和5年10月 2023 Kinta Press & Packaging (M) Sdn.Bhd.を子会社化

グループ販売拠点・製造拠点

国内販売拠点 20 拠点

国内製造拠点

- 富山工場 (1989)
- 富山第二工場 (2003)
- 富山東工場 (2008)
- 富山南工場 (2010)
- 京都クリエイティブパーク (2015)

連結子会社



富山工場/富山第二工場



富山東工場



富山南工場



京都クリエイティブパーク

海外拠点
(シンガポール)
Asahi Printing Singapore Pte.Ltd (2012)
(マレーシア)

Harleigh (Malaysia) Sdn.Bhd. (2019)
Shin-Nippon Industries Sdn.Bhd.

Kinta Press & Packaging (M) Sdn.Bhd. (2023)

本社
富山工場
富山第二工場
富山東工場
富山南工場
富山営業部
協和カートン(株)
(株)ニッポー
朝日人材サービス(株)

金沢営業所
滋賀営業所
京都営業所
京都クリエイティブパーク
神戸営業所

福岡営業所
熊本営業所

徳島営業所

奈良営業所
大阪支店
阪本印刷(株)本社
阪本印刷(株)富田林工場

東北営業所

高崎営業所
宇都宮営業所

東京支店
メーク営業部
新宿支店

東海営業所
岐阜営業所
名古屋支店
三重営業所



東京支店



名古屋支店



大阪支店
阪本印刷(株)本社



OTC (店頭向) 医薬品



医療用向医薬品



化粧品



添付文書



ラベル・シール関連



包装機械

印刷包材事業



医薬品市場、化粧品市場
向け製品の製造・販売

包装システム販売事業



印刷包材とそれを包装する
機械の提案販売

人材派遣事業



当社及び地域企業からの
求人を受けて人材派遣

2024年度
売上高構成比

92.5%

6.3%

1.2%

印刷包材のうち

医薬品向け

69%

化粧品向け

22%

その他

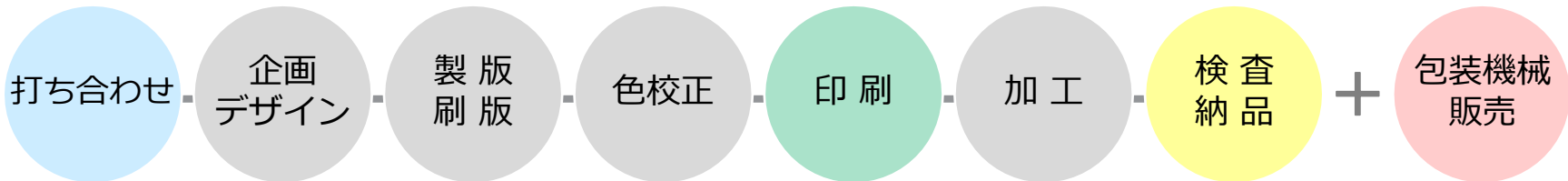
9%



2. 朝日印刷の 強み

グループワンストップサービスで同業との差別化を実現

医薬品・化粧品包材の **設計・デザインから製造・包装まで** を自社グループで提供



高い参入障壁

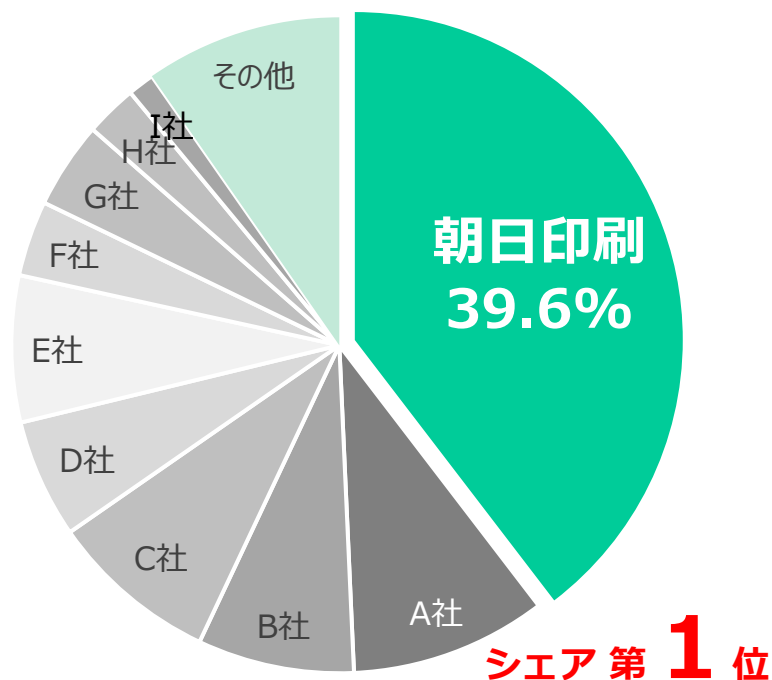
医薬品包材

- 医薬品の一部として人命に関わる包装物
 - ➔ **表示に関する専門的な知識と**
薬機法やGMPに準拠した製造が求められる
(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)
- 徹底した品質管理体制と品質保証体制
長年のノウハウの蓄積
 - ➔ **高品質**な製品の提供

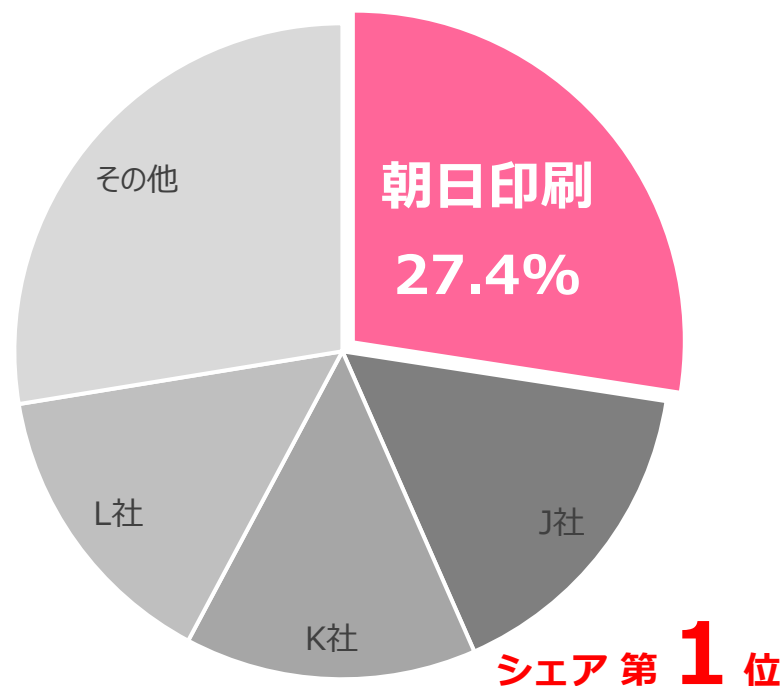
化粧品包材

- 多種多様な設備
様々な印刷・加工技術
 - ➔ **高付加価値**な製品の提供

医薬品 印刷包材市場 推定市場規模 (66,500百万円) ※



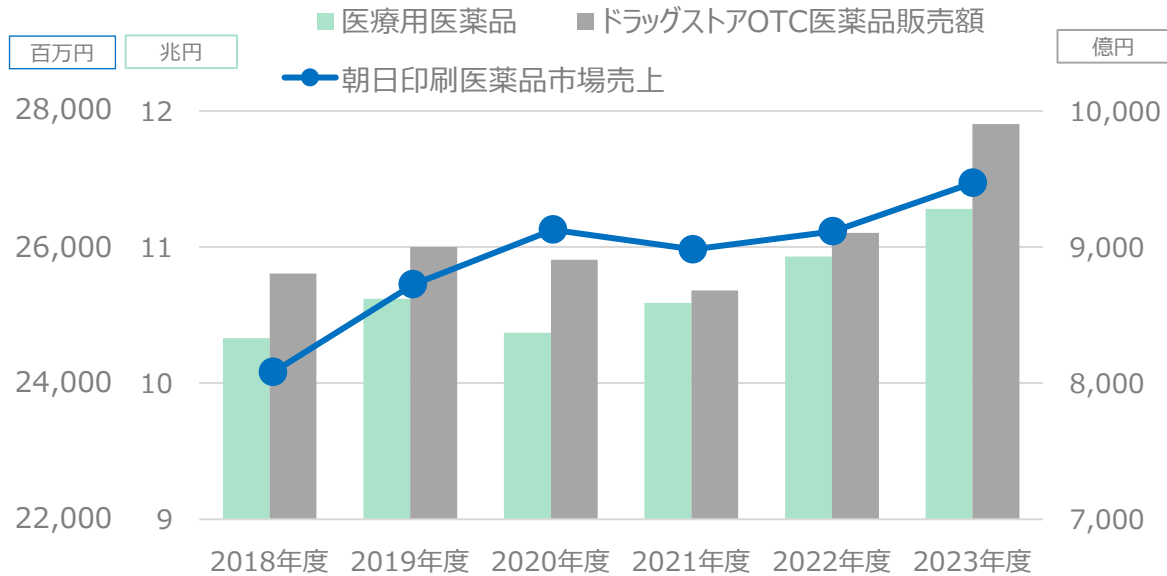
化粧品 印刷包材市場 推定市場規模 (26,200百万円) ※



※Copyright ©株式会社矢野経済研究所

- **偏りのない数多くの得意先**との取引 (トップの得意先で売上の**4%**程度)
- 全国20拠点の販売網による **地域密着型の提案型営業** (得意先の90%以上が50km圏内)

国内の医薬品市場推移



医療用医薬品 Copyright © 2023 IQVIA. All rights reserved
OTC医薬品 Copyright © 経済産業省

当社予測

医薬品使用量は、感染症の影響を受けたものの、高齢人口増加、GE普及促進、薬の品目増加により、当面の間

安定的に推移 する

医療用医薬品

医療用医薬品

- 医療用医薬品の国内市場は11兆円
老齢化の進展、感染症対応関連製品含め**堅調に推移**
- 医療用添付文書の電子化による**同梱廃止に伴う売上減少**は計画折込済

ジェネリック医薬品

- 市場規模は2023年には2018年対比で**30%**拡大
- バイオシミラーやオーソライズドGEの品目数倍増
- サプライチェーンの混乱と製品供給不足の動向

OTC医薬品

■ 感染症の影響により2020年、2021年と減少が続いたが、感染対策の見直し、行動制限の解除により、落ち込んでいた胃腸薬・ドリンク類が回復。また、インバウンド需要による総合感冒薬の回復等あり、2022年後半より増加傾向。2023年度は大幅増加。

■ スイッチOTC増加に向け、薬局・ドラッグストアでの体制整備やセルフメディケーションの広がりがカギに

市場環境

行動制限解除による
インバウンド需要
の高まり

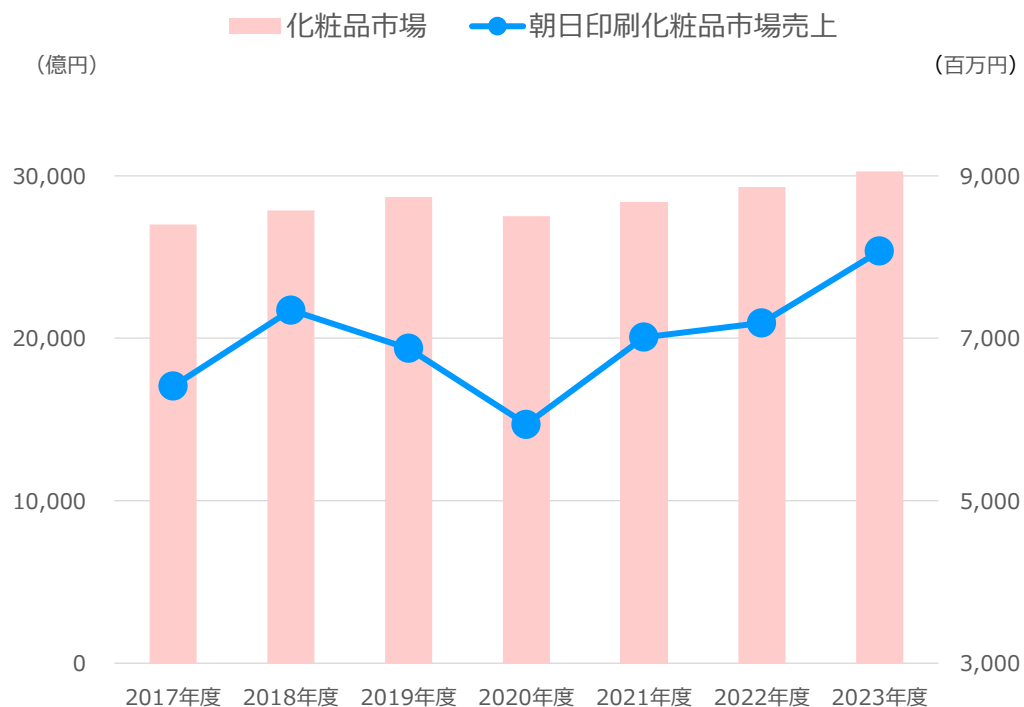
マスク緩和による
メーキャップ製品の
回復

MADE IN
JAPANの
ブランド価値向上
(国内生産への
回帰)

化粧品メーカー
越境EC対応拡充

環境配慮気運の
一層の高まり

国内の化粧品市場規模と朝日印刷化粧品市場売上推移



Copyright ©富士経済グループ 国内化粧品市場調査

化粧品需要は回復し、
安定的に推移

事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan)

- ◆ コロナ感染症拡大により、継続して取組んできたBCP対応が得意先へのPRポイントへ
- ◆ 課題：国内外含めたグループ内でのサプライチェーンの再点検・高度化へ

国内製造拠点

- 富山工場
- 富山第二工場
- 富山東工場
- 富山南工場
- 京都クリエイティブパーク 東棟・西棟

グループ会社

- 阪本印刷 (ケース)
- ニッポー (添付文書)
- 協和カートン (ケース)



京都クリエイティブパーク



富山工場



阪本印刷株式会社



株式会社ニッポー

3. 中期経営計画

AX2024

AX2024スローガン

包むところを大切に 新たな第一歩を

「包むころを大切に 新たな第一歩を」をスローガンに以下の5つの事業戦略を実行することで、お客様へ対して包装の揺るぎない付加価値を創出し、朝日印刷グループ全体の企業価値向上に努めてまいります。

「AX2024」 5つの戦略

市場深耕拡大

医薬・化粧品市場の戦略的シェア拡大と新しい事業領域への挑戦
(ラベル事業強化 / 包装システム / 新事業)

付加価値最大化

仕事の最大効率化とお客様への付加価値を極める

ワークエンゲージメント

Asahiグループ全従業員が仕事に対して夢とプライドを持ち最高のパフォーマンスを発揮できる体制を構築する

海外事業推進

富山から全世界に向けてASEAN事業拡大と次の市場進出戦略

経営資源活用

Asahiグループ全ての資源・技術を結集しグループ事業全体で最大の力を発揮させる



市場深耕拡大



付加価値
最大化



ワーク
エンゲージメント



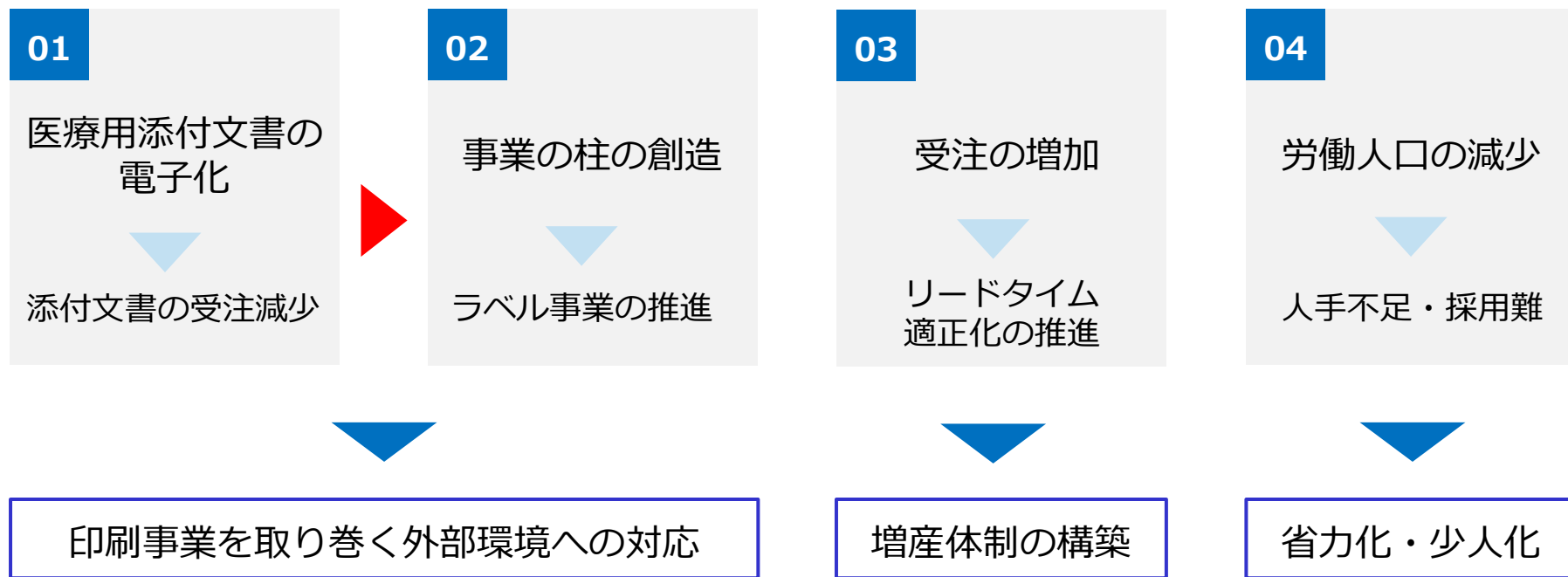
海外事業推進



経営資源活用

富山エリアにおける工場再編

背景



2024年4月 工場再編推進室を新設

STEP 1 (2024年度実施)

医療用添付文書の電子化に伴う、製造エリアの見直し

【対象工場】

富山南工場
(添付文書)

富山第二工場
(医療用医薬品
パッケージ)

富山第三工場
(ラベル)

【見直内容】

- ・ 添付文書 … 製造エリア縮小
- ・ 医療用医薬品
パッケージ … 製造エリア拡張
- ・ ラベル … 製造エリア拡張

拡張エリアへの
省力化・少人化機械の導入

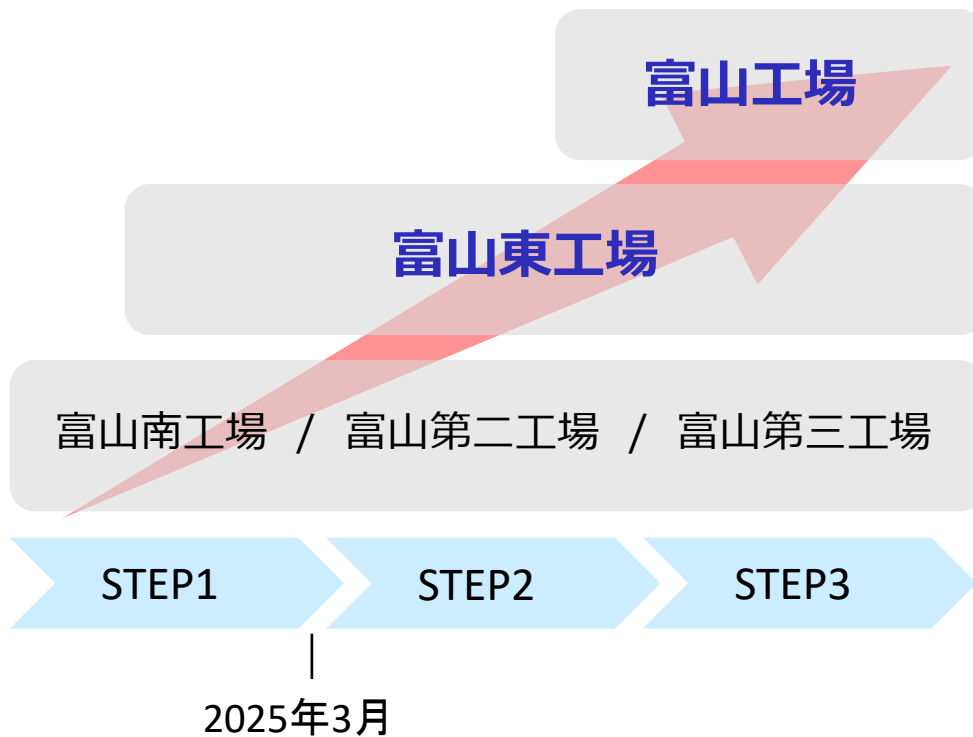
投資額
20億円以上

【効果】

- ✓ 医療用医薬品パッケージの
生産能力拡充
- ✓ ラベル事業内製化の推進
- ✓ 省力化・少人化の推進

NEXT STEP (今後の展望)

STEP1に加え、富山工場、富山東工場も含め、 富山エリアの全工場を対象に再編を検討



工場再編ビジョン

- ・ 外部環境への対応
- ・ 増産体制の構築
- ・ 省力化・少人化
- ・ 生産性向上による働き方改革
(ワークエンゲージメントの向上)
- ・ カーボンオフセットの推進

**持続的な成長と
恒久的な安定供給体制の構築**



市場深耕拡大



付加価値
最大化



ワーク
エンゲージメント



海外事業推進



経営資源活用

マレーシア子会社 シンニッポン社における、新工場建設計画

トレンド

01

環境

成長を続けるASEAN地域
の中でも、特に安定成長
が見込まれるマレーシア



現在も多くの企業が投資

02

戦略

A X 2024における
「海外事業推進」戦略
の推進



来期以降も強力に推進

03

業績

子会社化後の順調な成長

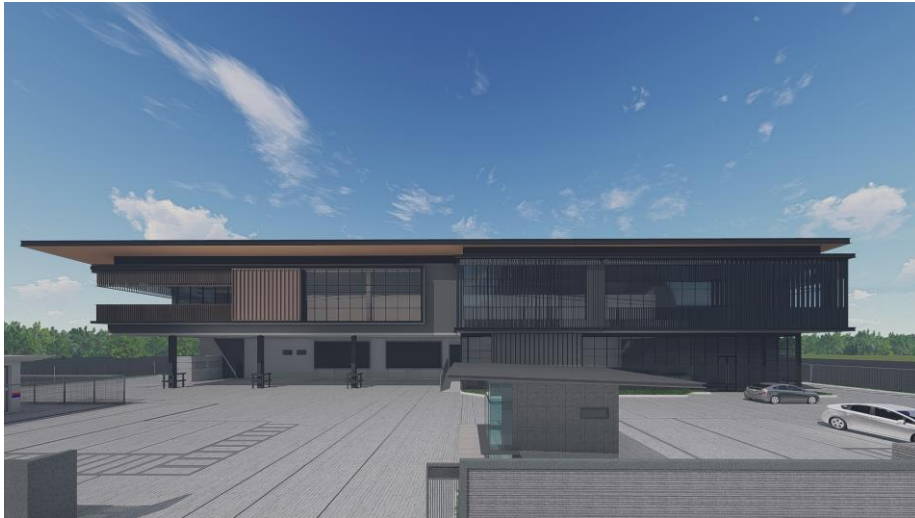


今後も好調な受注予想

Mission

ASEAN事業拡大の核となる戦略的製造拠点の構築

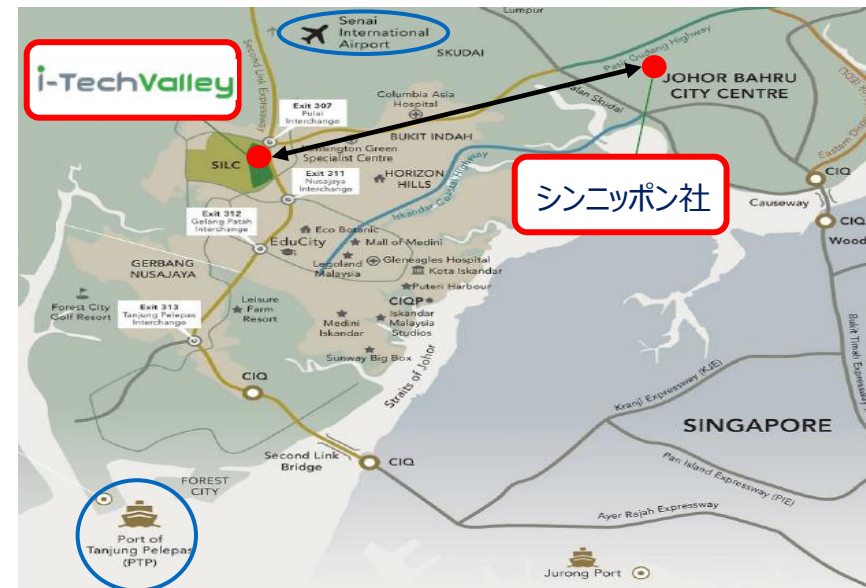
概要

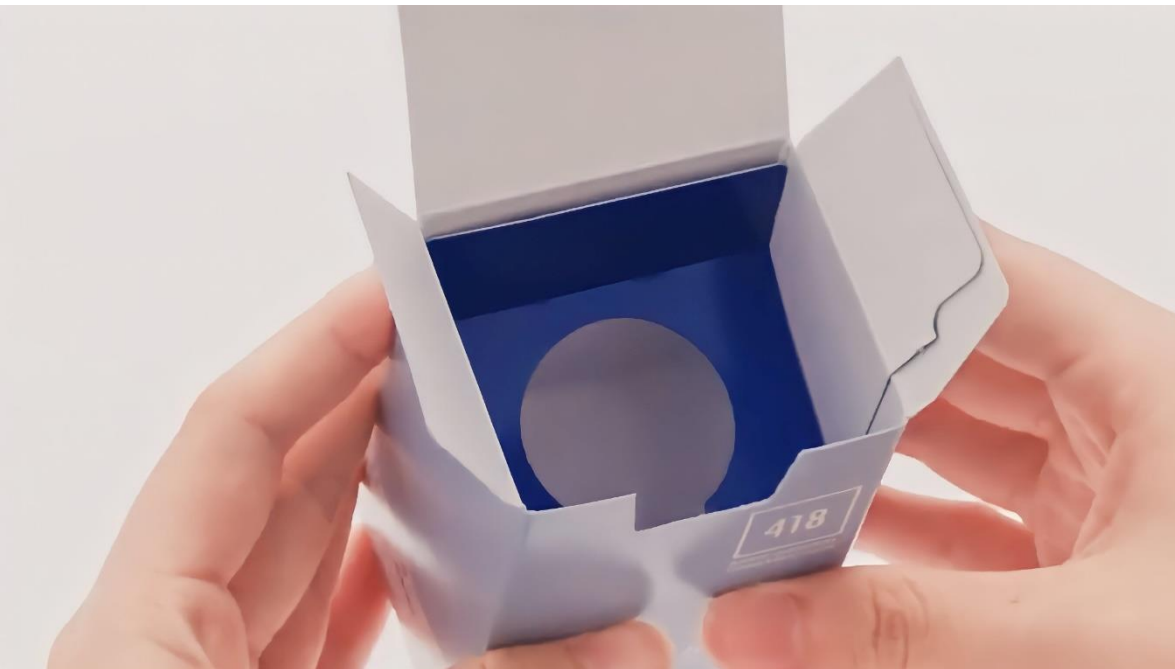


- 建設地：i-Tech Valley（マレーシア）
- 延床面積：約1.2万m²
- 投資総額：20億円以上
- 主な製品：医薬品包材・医療機器包材
- 稼働：2026年初旬予定

i-Tech Valleyの位置

- ・シンニッポン社から : 22km
- ・タンジュンペラパス港から : 16km
- ・セナイ空港から : 27km





4. 決算概要

+ 価格改定の効果

- 前年同期の投資有価証券売却益計上による反動

+ キンタ社の連結子会社化

(百万円,%)

	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	前期比	前期差	25年3月期 計画	進捗率
売上高	10,407	11,067	+6.3	+660	44,100	25.1
営業利益	736	777	+5.7	+41	2,650	29.4
経常利益	798	853	+6.9	+55	2,700	31.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	640	604	△5.5	△35	1,800	33.6
1株当たり 四半期純利益	29.44円	28.41円	△3.5	△1.03	83.31円	34.1

6. 株主還元



配当方針について

2025年
3月期予想

38円

中間配当
1株当たり

18円

期末配当
1株当たり

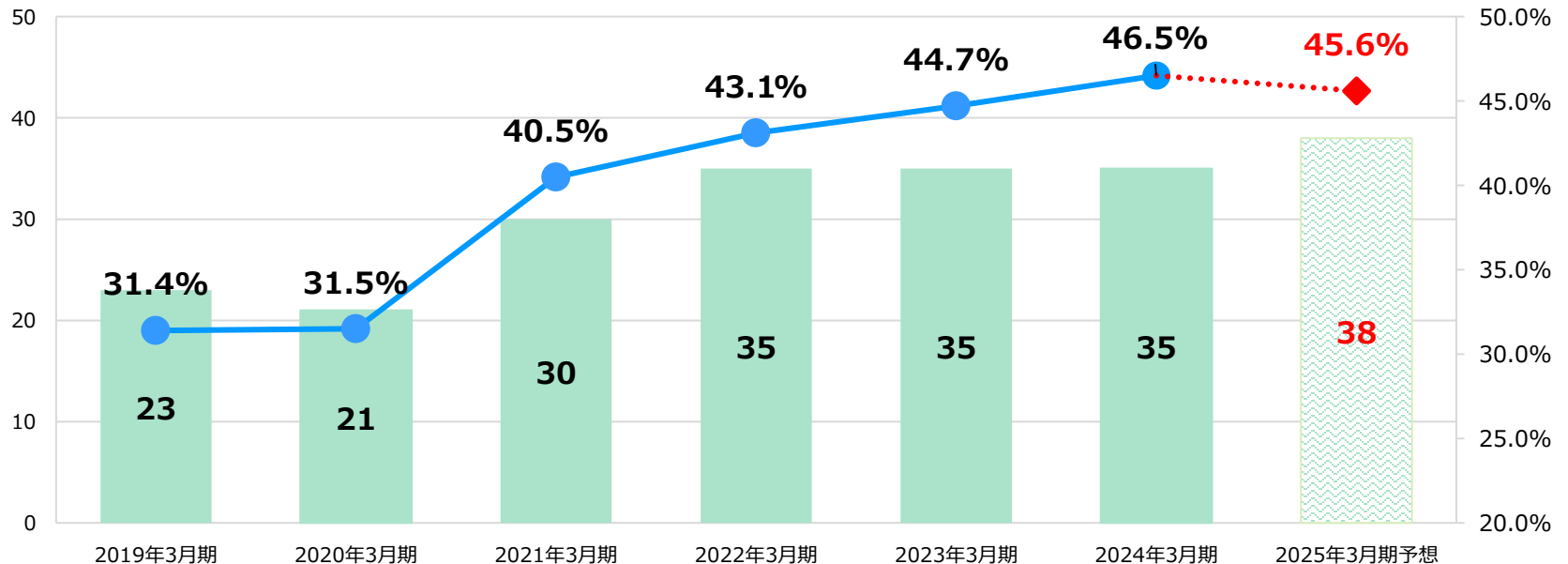
20円

- ◆利益還元を配当で実施することを重要な経営政策と位置付けております
- ◆安定的な配当の継続を基本とし、連結ベースで配当性向 **40.0%** 以上を実施してまいりたいと考えております

配当実績(円)

■ 配当 ● 配当性向

配当性向



ご清聴ありがとうございました！

＜お問い合わせ先＞ 朝日印刷株式会社
経営管理部コーポレート課
TEL：076-491-6137
MAIL：home@asahi-pp.co.jp
HP URL：https://www.asahi-pp.co.jp/

■ この配布資料に記載されている業績予想および見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境等の不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

■ 投資者一般への情報伝達を目的としており、当社の株式
その他有価証券等の売買等を勧誘または推奨するものではありません。

